

防災ひとくちメモ

厳冬期の災害に備えましょう

上川・留萌地方で最も寒い時期となりました。冬の気象災害の代表である大雪や暴風雪はしばしば停電被害をもたらします。厳冬期に自宅で暖房器具が使えなくなることは命に直結します。真っ先に停電を想定した寒さ対策を考えておきましょう。

また、厳冬期に備えておくべきはそれだけではありません。冬の大地震や火山噴火を想像してみてください。大地震での強い揺れや火災への対策はもちろん大切ですが、津波や火山噴火からは一刻も早く安全な場所へ避難をしなければなりません。気温は氷点下、深い積雪や路面凍結の影響によって普段よりも避難に時間がかかります。今のうちからハザードマップで避難場所や避難路、非常持ち出し品を確認しておき、いつでもすぐに避難できる準備をしておきましょう。気象台では災害からの被害防止・軽減を図るために防

災気象情報を発表し、皆様の防災行動を支援します。日頃からの備えの1つとして、あらためてこの機会に気象台の発表する情報についてもご確認をお願いします。

《大雪・暴風雪に関する最新の防災気象情報》

https://www.jma.go.jp/jma/bosaiinfo/snow_portal.html

《津波に関する情報》

<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/tsunamiinfo.html>

《火山に関する情報》

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/kazan/vol_know.html

◆お問い合わせ先◆

旭川地方気象台 ☎0166(32)7102

<https://www.data.jma.go.jp/asahikawa/index.html>



天塩産クリスマスを楽しみました

コロナ禍の2021年に協力隊に着任し、これまで遠目でしか見ることのできなかった「認定こども園おひさま」。当時から3年を過ぎた2024年12月4日、留萌振興局森林室天塩事務所主催、天塩町役場農林水産課協力による木育活動の一環として「道産トドマツのクリスマス展示・イベント」支援で私は初めて訪問することができました。解放感のある広場を駆け回る園児たちは裸足。足裏からの刺激は成長に大変重要とされている説もあり、免疫力を上げるために私も同感するところです。

クリスマスツリーの飾り付け用に用意された道産トドマツの板にプリントされたオーナメント用の「てしお仮面」の表情はそれだけでも可愛く、園児が着色したてしお仮面は個性にあふれていました。私がかつて研修を受けたイタリアのレッジョ・エミリア市における幼児教育システムのなかでは、こうした成果物もアートとしてとらえられます。「100の言葉」として、ひとりひとりの個性に着目し感性を育むのが、保護者にとどまらないマチのおとなの義務とされているのです。

翌12月5日、雪の中、役場庁舎に来てくれた園児たちは、用意されたトドマツのツリーに自分のてしお仮面オーナメントを飾りつけました。当日はたくさんのおとなたちも見学し、飾り付けや「てしお仮面」の登場に沸く園児たちを見守りました。「今だけ」「ここだけ」の感性こそが明日の天塩町をつくる原動力です。青い手袋の、てしお仮面やピンクの「天」が輝く、てしお仮面が頼もしく、また一町民として誇らしく感じました。(三國)



▲夢中で「てしお仮面」に好みの色をマーカーで塗る園児



▲今だけの作品が並ぶ。すべてが天塩らしいイベントとなった

